

みんなで学ぶ流域治水セミナーイベント

～水害対策についてみんなで考えませんか～

開催結果

開催概要

- 開催日時：令和7年2月15日（土）
10:30～16:00
- 会場：うすい百貨店1階イベントホールアトリウム
（郡山市）
- 来場者数：300名 ※期間中の延べ人数
- 概要：第1部 パネルセミナー（10:30～11:00）
第2部 トークセミナー（11:00～12:30）
第3部 パネルセミナー（12:30～16:00）



セミナー状況



セミナー状況

第1部 パネルセミナー（10:30～11:00）

- ・ 流域治水をテーマとして、以下の内容についてパネルを展示し、来場者に対し説明を行いました。
- ・ また、来場者への説明では、行政機関の職員からの説明だけではなく、福島大学の学生らによる説明も行われました。
- ・ 1部から3部とも、来場者は、郡山市内からのみではなく、福島市や二本松市などの郡山市外から来場される方がいらっしゃいました。

【説明内容と参加機関】

- ① 気候変動に対応した阿武隈川の実施（福島河川国道事務所）
- ② 逢瀬川流域・谷田川流域のこれまでの治水対策と今後の取組（県土木部）
- ③ マイ避難の実施（県危機管理部）
- ④ 河川水位情報と河川監視カメラ（県土木部）
- ⑤ 気候変動や水害に関する研究内容（福島大学、県生活環境部）
- ⑥ 100mm安心プラン及びハザードマップ（郡山市）



パネルセミナー状況（福島大学学生による説明）



みんなで学ぶ流域治水セミナーイベント

開催結果

～水害対策についてみんなで考えませんか～

第2部 トークセミナー (11:00~12:30)

トークセミナーは、気象キャスターの寺川奈津美氏や福島大学の川越教授から講演をいただき、その後、「水害に強い生活を考えよう！」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

講演やパネルディスカッションの内容は、グラフィックレコーディングによってその場でイラスト化が行われました。

講演1：気候変動による近年の水害の状況と私たちが取るべき対策

気象キャスター 寺川 奈津美 氏

気候変動を考慮し、想定される未来の天気予報を用いながら、今後、想定される気象状況等について説明いただき、近年の水害の状況も交えながら、住民が行える水害の備えについて講演いただきました。

講演2：気候変動への対応と今後の水害対策のあり方について

福島大学教授 川越 清樹 氏

気候変動と豪雨災害の関係や今後の水災害対策としての流域治水について説明をいただくともに、流域治水を進めるために必要なことを「共創」というキーワードを用いて講演いただきました。

パネルディスカッション：水害に強い生活を考えよう

コーディネーター 福島大学教授 川越 清樹

パネリスト

気象キャスター

寺川 奈津美

国土交通省 福島河川国道事務所

古山 茉実

福島県 県中建設事務所

大平 貴史

郡山市消防団

原 貴史

うすい百貨店

菅野 俊広

郡山女子大学

佐藤 万緒 (※敬称省略)

水害に強い生活について、気候変動や持続可能な生活、流域治水を視点とした意見交換が行われました。



寺川キャスターによる講演



福島大学川越教授による講演



パネルディスカッション



グラフィックレコーディング

みんなで学ぶ流域治水セミナーイベント

～水害対策についてみんなで考えませんか～

開催結果

第3部 パネルセミナー（12:30～16:00）

第1部と同様に、パネルセミナーを行いました。
パネルディスカッション後に、寺川キャスターによるお天気・防災質問コーナーを開催しました。
来場者から寺川キャスターへ、雪に関する質問や防災・天気の情報収集の方法についての質問が出されていました。



お天気・防災質問コーナー



パネルセミナー（VR体験状況）

パネル説明を行った福島大学学生のコメント

- ✓ 来場されている人のほとんどが被害に遭われている人で、多くの人が豪雨災害で被災していることが分かった。
- ✓ パネル説明を通し、一般の人には自分たちが説明で使う言葉が通じないことが分かった。
- ✓ 意外と多くの方が足を止めてくれた。
- ✓ 防災・減災は、住民間で共通認識を持つことが重要であるため、座談会形式のパネルディスカッションが効果的であると感じた。
- ✓ 減災・防災は、一般の人はイメージしづらいため、イメージしやすいVR等のツールを用いることが効果的だと思った。

来場者からの声

- ✓ 水害について、住民の意識を高める事が必要だと思うので、このような取組（セミナーイベント）はたいへんよいことだと思う。
- ✓ 水害を擬似体験できたため、セミナーイベントで体験したVR体験はよい取組だと思う。
- ✓ 今回のような流域治水セミナーイベントの取組を継続して開催して欲しい。
- ✓ 阿武隈川上流遊水地群や郡山市の雨水貯留管を今回のイベントで初めて認識した。今回のようなイベントでそのような施設をもっとPRすべきだと思う。
- ✓ 今回のようなイベントを通じ、流域治水には、大雨時に水の使用を工夫する等の住民ができる取組があることをより多くの人に知ってもらうことが重要だと思う。
- ✓ より多くの方が来場できるよう、1日だけの開催ではなく、複数日にわたって開催してほしい。
- ✓ 展示パネル、説明に専門的な用語が多く、理解するのが難しかった。